

# 能登教務所通信 11月

教区教化テーマ

## 人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

教区教化事業のご案内

### ◆教区報恩講◆ 総合教化本部

能登教区(済美精舎)報恩講は、例年通り11月12日(土)、13日(日)に教務所(済美精舎)にて厳修いたします。但し、新型コロナウイルス感染予防のため、今年度も変更した日程、内容にて執行いたしますことをご了承ください。尚、感染症の拡大状況等によっては、更なる日程変更又は執行を中止する場合があります。

詳細については、先月号に同封しております、チラシ・ポスターをご覧ください。

### 教区報恩講のライブ配信について

今年度もYoutubeにて教区報恩講の様子をライブ配信いたします。

視聴方法は主に以下の3通りとなります。操作がご不安な方は事前に教務所までお問い合わせください。

### 視 聴 方 法

①右記QRコードを読み取っていただき、Youtubeにて視聴。

※事前にチャンネル登録をお済ませください。



【12日】



【13日】

②インターネットで「Youtube」と検索いただき、Youtubeで「真宗大谷派能登教区」と検索。

※ライブ配信のため、事前に検索しても表示されない可能性がございます。その際は、当日改めて検索ください。

③教区ホームページ内記事「教区報恩講ライブ配信について」より視聴。

教化事業・その他行事のご報告

### ◆カルト問題研修会◆ 時代社会部門

去る9月22日(火)、輪島市の正覚寺様を会場に能登教区カルト問題研修会を開催した。

住職・寺族・坊守を対象に呼びかけ、今回は奥能登ブロックを中心に21名の参加があった。前年度に引き続き、講師には四衢 亮氏(青少年センター研究員 岐阜・高山教区不遠寺住職)をお招きした。

当日はその数日前からの大型台風接近情報にびくびくしながらではあったが、日程通りに開催できたが、台風のために講師は急遽 Zoom によるリモート講義と質疑応答ということになり本当に残念であった。

「私たちにとってカルト問題とは何か」と題されたお話では、人間の持つ五つの畏れとそれを超えた境地について、念仏に依る救いとそうではないものの違い、さらに仏・法・僧を敬うこととカリスマ支配の違いについてなどを丁寧にお話しされた。

参加者からは、カルト問題を学ぶことは自分自身のことを学ぶことになっていくことに気付いたという感想や、もっと具体的な現状や対応を聞きたいなど多くの反響があった。これらをふまえ、次回の研修につなげていきたい。

(時代社会部門 法岡敬人)



### ◆同朋社会推進要員研修◆ 同朋社会推進協議会

9月27日教務所本堂で、同朋社会推進協議会によって同朋社会推進要員研修が開催された。テーマは「男女平等参画できる声明(しょうみょう)」であった。講師は第13組明願寺坊守の藤井如子氏であった。参加者数は、対象を同朋社会推進協議会員と教区坊守会役員に絞ったため、10名であった。

先ず声明について、意味や姿勢などの話がなされた。「声明とは、声を用いて文字の心を明らかにしていくことだ。」「浄土の荘厳の中に肉声荘厳というものがある。教えを口に出して伝えていく。声明によって仏事・法要が作られていくということを忘れないでいて欲しい。」と語られた。

次に一緒に声を合わせてお勤めをすることでの、留意点について話がなされた。「調声人の出した声の高さに合わせるということが基本だ。調声人がドレミの高いレで調声して合わせにくいと感じたら、1オクターブ低いレで合わせると良い。」「常に同座している人の声を聞きながら合わせる。」「我々が問われ、見つめ直していく。何を問うておられたかを声明を通して感じ取って欲しい。」と語られた。講義の後の質疑応答では「女性による調声についていく経験が少ないので、今日のような研修は良かった。」との声があった。

今回の研修は2023年5月に予定されている、同朋社会推進協議会の男女平等参画推進研修会・教区坊守会の差別問題研修会の事前研修として、開催された。男女平等参画できる声明を考える時には、女性だけでなく男性の参加も願われる。5月の研修会でも、多くの男性の参加を期待したい。

(同朋社会推進協議会 松下春樹)



## 本山・教区事務についてのご連絡

### ◇教務所事務休止・事務休止について◇

11月8日(火)は報恩講大掃除、12日(土)及び13日(日)は報恩講嚴修のため廃休とさせていただきます。

併せて、教区報恩講のための廃休により、下記の期日を事務休暇(振休)とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

振休日 11月14日(月)

**緊急連絡先 090-5685-5611 (教務所携帯電話)**

### ◇2023年版「参拝される皆様へ」が発行されました◇

2023年版「参拝される皆さまへ」が発行されました。1部同封いたしますので、ご活用ください。なお、追加を希望される方は教務所までご連絡ください。

### ◇選出教区会議員の任期満了に伴う選挙について◇

このたび、任期満了に伴う教区会議員選挙が施行されます。つきましては、選挙日程等の予告文書を同封しておりますのでご覧いただきますようお願いいたします。

### ◇本山経常費完納寺院◇(2022.9.1~9.30迄)

2022年度本山経常費をご完納いただき、ありがとうございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	教圓寺 恩通寺	圓通寺	慈雲寺	第8組	林敬寺 光顯寺	淨慶寺	長光寺
第2組	榮通寺	專修寺	專隆寺	鵜川組	長龍寺 妙覺寺	淨誓寺	願慶寺
第3浜方組	光念寺 願龍寺	宗源寺	明正寺	穴水組	真淨寺 本教寺	明樂寺 隨照寺	誓運寺 光宗寺
第3山方組	西性寺	極應寺		第10組	往還寺 高福寺	西光寺 道忍寺	了覺寺 勝安寺
第4組	滿念寺 福專寺	永誓寺 新覺寺	康順寺		福正寺 圓龍寺	光樂寺	嚴徳寺
第5組	正光寺			第11組	蓮聖寺	聖徳寺	長正寺
第6組	滿覺寺 長順寺 吟龍寺 淨蓮寺 覺成寺	廣照寺 西慶寺 善通寺 善行寺	願行寺 眞善寺 正養寺 淨方寺	第12組	法泉寺 長賢寺	珀琳寺 西光寺	佛乗寺 光源寺
第7組	佛照寺 照念寺	明榮寺 六和精舎	眞照寺 靈高寺	第13組	長福寺	乘龍寺	
				第14組	信行寺	閑窓寺	得源寺

### ◇宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃懇志金完納寺院◇

(2022.9.1~9.30迄)

2019年度より募財をお願いしております慶讃懇志金につきまして、ご完納いただきありがとうございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第6組	善通寺	第10組	勝安寺	圓龍寺
第7組	真照寺	第11組	聖徳寺	
穴水組	本教寺	第12組	法泉寺	西光寺

◇**住職就任**◇(教区通信9月号 掲載以降)

第7組 願誓寺 安藤 真 2022年9月28日

◇**代務者就任**◇(教区通信9月号 掲載以降)

第4組 因宗寺 柏女 有教(東京千葉組因宗寺住職) 2022年9月28日

第10組 浄正寺 貞廣 賢了(第10組浄正寺候補衆徒) 2022年10月11日

第11組 圓成寺 安土 大善(小松第2組照善寺衆徒) 2022年10月7日

◇**敬弔**◇(教区通信9月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第10組 西勝寺 住職 西山 郷史 2022年10月12日

慶讃法要に向けた取り組みのお知らせ

◇『御本尊のある生活を-御本尊手渡しの手引き-』の発行について◇

このたび、慶讃事業「真宗の仏事の回復プロジェクト」として、『御本尊手渡しの手引き(寺院向け)』が作成されました。

この手引きには、住職から丁寧に御本尊を手渡していただくため、新たに「御本尊手渡し式」を位置づけ、その準備や注意点、式次第、法話などが掲載されています。

是非とも各寺院でご活用いただき、1人でも多くの方に御本尊をお手渡しいただく一助となれば幸いです。

なお、本手引きは、10月末の定期直送便に同梱されておりますのでご承知おきください。



御本尊のある生活を

- 御本尊手渡しの手引き(寺院向け) -

- P.1 発行の趣意
- P.2 御本尊について
- P.3 御本尊手渡し式について
- 寺院本堂でお渡しする場合
- P.4 門徒宅でお渡しする場合
- P.5 〔要〕仏前結形式でお渡しする場合
- P.6 〔要〕御尊法座(おひたまし)
- P.7-P.9 発行のことばについて
- P.10-P.13 法話について

東本願寺  
Higashi-Noto-dera

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。

発行責任者 能登教務所長 竹原 了珠

発行日 2022年11月1日

能登教区教化テーマ 人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

慶讃テーマ 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

能登教区ホームページアドレス URL <http://ohigashi-noto.jp/>